



# オアシス

文責：学長  
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2024年3月6日発行 第69号

3月は卒業式シーズンです。夢に向かって次のステージへの準備を整える時期です。しかし、夢を持つ前に自分は何がしたいのかをはっきりさせておくことが大切です。そのために、今まで多くのことを学んできたことと思います。こうなりたいと夢を描いたなら、それに向かって精いっぱい突き進んでください！ それぞれの夢が叶いますように！！

## IZUMOpera コーナー

### ●ファミリーコンサートシリーズ2024の開催！

令和5年度の締めくくりとして、各講座で学んできたことを発表するファミリーコンサートが開催されます。今年度から、いわゆる世間一般の年度に併せ、本アカデミーの日程も4月始まりの3月終わりとなります。従って、例年年度終わり（昨年までは4月）に開催するファミリーコンサートも3月末に開催される事になります。

また、コロナ禍も落ち着き、長年開催していなかった合宿をファミリーコンサートに併せ実施することとなりました。

今後の計画として、Jr.フィルの演奏旅行を隔年に開催し、演奏旅行がない年には合宿を実施することで、アカデミーで学んでいる皆さんの交流がより深まり、併せてコミュニケーション力も高めていきたいと思っています。

本コンサートの内容を概略ですが紹介します。詳細については、チラシ及び本アカデミーのホームページでご確認ください。

#### ★iPhil&出雲 Jr.フィル「プロムナード・コンサート」

日時：令和6年3月30日（土）15:00 開演

会場：大社文化プレイスうらら館 だんだんホール

チケット：一般 1,200円 高校生以下 800円

出演者：【出雲 Jr.フィルコーラス】【出雲 Jr.フィルオーケストラ】

【iPhil オペラ】【iPhil オーケストラ】

#### ★うららかな春のアットホームな音楽会

日時：令和6年3月31日（日）14:00 開演

会場：大社文化プレイスうらら館 だんだんホール

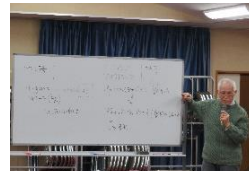
チケット：800円 就学前のお子様無料（要整理券）

出演者：【幼児クラス「うたなかま」】【キッズ音楽入門「はじめの一步」】

【ジュニア弦楽器「ベーシッククラス」「楽器別クラス」】【邦楽合奏】

【コーラスレパートリー】【iPhil チェンバーオーケストラ Mini】

## 特集：丸山桂介氏から学んだこと！



令和6年2月16日、“丸山桂介”氏をご逝去されました。音楽学の権威である氏には、本アカデミーの「特別主位研究講座」で定期的に講義をしていただきました。私も4回に渡って受講することができました。その受講の中から私が学んだことを過去の「オアシス」から抽出し、振り返ってみたいと思います。(オアシス第14号、第28号、第32号、第44号から)

### ◆2019年6月講義から

「実践」では、本アカデミーの指導者が積極的に学ぶ場として、公開レッスンという形で開催されました。自身の演奏技術の向上とアカデミー受講生への指導技術の向上にも生かされました。

「理論」では、「ミサ」と「キリスト教の成立」、「哲学者シューベルト」について学びました。ヨーロッパで生まれたクラシック音楽の根底には宗教音楽の存在が大きく影響していることや、当時の時代背景を調査しなければ作曲家の意図する本当の曲想を知らずに演奏することになる事等を学びました。

### ◆2020年8月講義から

この講義で印象に残ったのは、作曲家が熱意を込めて楽譜に残したメッセージを演奏家がどう読み解き、伝達者としての役割をどう果たすかという事でした。

丸山氏の書籍に自筆サインから「音楽は人間の精神を映す鏡」と記してありました。音楽に対する心構えとして肝に銘じたいと思います。

### ◆2020年12月講義から

ベートーヴェン生誕250周年として、講義1「ボンのベートーヴェン」、講義2「ミサ・ソレムニスと第九へ」、講義3「ベートーヴェンを弾く」の3講座でした。興味を持ったのは、ベートーヴェンの生活感や第九への生涯をかけた執念、ベートーヴェン音楽のテンポ実験でした。昨今のベートーヴェン曲は、後々の演奏家によってあまりにも美化されすぎている傾向にあり、ベートーヴェンが伝えようとしていたこととかけ離れている現状に考えさせられました。

### ◆2021年12月講義から

- ①「バッハ作品の講解（カンタータ）及び（組曲）の奏法と歌い方」
- ②「フィデリオとメロドラマ」
- ③「アパッショナータと英雄」

私は、「アパッショナータと英雄」のみの聴講でした。アパッショナータは最近のドラマでも使用されている言葉ですね…？ここで学んだのは、各作曲家の曲づくりについては、「何を思って、何を哲学に、何を参考にして創作されたか…」を理解すること。演奏家の心得として「楽譜を深く読み解くこと」「作曲家の意図を基にして個を生み出すこと」が大切で、エンターテイメントを目指すことではないという事でした。

丸山先生！多くの学びをありがとうございました！安らかに眠りください！

## フォトギャラリー

《ニューイヤークンサート2024から》



《サロンコンサートから》

